



はるにれ

学校教育目標

夢をもって未来を切り拓く 調和のとれた子どもを育てる

海老名市立有馬小学校 学校だより
令和3年1月29日 号

校長 村松 かおり

2021年 開始から1か月

暦の上では立春間近ですが、寒い日が続いています。けれど、業間休みや昼休みには寒さにひるまず元気に校庭へ飛び出していくたくさん子ども達。新学期早々の緊急事態宣言発令を受け地域の感染レベルが上がったことにより、活動計画や内容を再度見直しながら指導を進める日々ですが、ありまっ子の変わりないパワーに何より励まされる思いです。感染症対策をとった上で「今できること」をできる限り実践し、次の学年へ自信をもって踏み出せるように子どもたちの学びを継続したいと考えています。

4年生が育てたヘチマ ⇒



保護者の皆様には引き続き健康観察等にご協力いただき感謝申し上げます。また、学期始めの時期には、早朝から登校ルートの要所で子ども達を見守ってくださり、大変ありがとうございました。

2月の主な行事予定

- 3日(水) 朝のあいさつ運動 クラブ活動(まとめ)
- 5日(金) 健康カード配付
- 10日(水) PTA 新地区常任予定者会
- 12日(木) 学校訪問相談
- 15日(月) 児童朝会(新運営委員あいさつ)
- 20日(土) 土曜授業 普通日課3時間 給食あり
学年発表(3年・6年)
- 22日(月) 短縮日課4時間
- 24日(水) 児童朝会(旧運営委員あいさつ)
普通日課5時間 小中連携授業参観
- 25日(木) 学校訪問相談
- 26日(金) 学校訪問相談



※緊急事態宣言解除のタイミング等を踏まえた市の方針により、予定が変更される可能性があります。申し訳ございませんが、ご了承ください。

静寂に包まれた書き初め大会

3学期早々の書き初め大会は、予定通り実施できました。例年以上に静まりかえった体育館で、真剣に筆を運ぶ中・高学年。使い慣れない大筆に苦勞しながらも、練習で気づいたことを活かし、バランスを考えながら慎重に書き進める姿が印象的でした。低学年のフェルトペンと鉛筆による硬筆作品も、お手本と見比べながら一画ずつ丁寧に書き進めたことが伝わる出来栄でした。書き初め大会のたびに感じるのは、確かめながら正しく丁寧に文字を書く習慣の大切さです。書き初めでの体験を日常にもつなげてほしいと思っています。

図作品等と合わせた作品展を保護者の皆様にご覧いただくことはできませんでしたが、子ども達は他学年の作品を鑑賞し合いました。落ち着いて観て回り、一生懸命感想を書く様子に、間接的であっても関わり合い認め合う活動の良さを感じました。



クイズで知る有馬小



1/25(月)に児童会運営委員が企画した朝会レクが行われました。これまで学校規模を生かした縦割り活動を大切にしてきた有馬小ですが、今年度は感染予防面から多くの計画を見送らざるを得ませんでした。2回目となる放送によるレクは、何とか全校児童で一斉に楽しむ時間を作ろうと、運営委員が工夫した取り組みです。学校に関する色々な〇×クイズが用意され、テンポよく出題・解答が進められました。答えの発表に「わあっ」と歓声上がるのを聞き、互いに頼ったり気遣ったりしながら自然と思いやりや感謝の心が育まれる活動を、憂いなく行うことができる日々を早く取り戻したいと願わずにいられませんでした。



★今年の書き初め課題は…

- 1年「ふじ山」 2年「大きなゆめ」 他
- 3年「友だち」 4年「明るい心」
- 5年「新しい風」
- 6年 自分で選んだ四字熟語 でした。